

# 「伊豆建設新時代」を若く優秀な人材で



発行・編集  
三島建設業協会  
広報委員会  
三島市玉川250の2  
電話 (055) 975-0332  
ホームページ <http://www.misimakenkyo.jp>  
発行日 毎月1日

## インターンシップ受け入れによる建設業への就職支援

労務委



三島建設業協会労務委員会(高島勝委員長)は六月二十四日、三建大会議室で第一回委員会を開いた。当日は、静岡県立伊豆総合高等学校建築工学科の寺井賢一教諭を招き意見交換を実施。寺井教諭から伊豆総合高校の現状について、「①入学定員割れは続いているが減少に歯止めがかかってきた。②生徒の学習レベルは向上している。③離職率は是正されているが、企業における

声掛け等の取組が実を結んでいる。なお、本年は十一月十日・十一日の二日間、生徒36人のインターンシップの受け入れをお願

いした」との説明があった。委員からは、地元高校生に建設業を理解していただく機会である旨の発言。更に、実習受け入れ事業所10社を候補社として選定するなど、活気溢れる意見交換が実施された。この他に、▽公共工事労務単



山車の上からチャンチキ、チャンチキ、大人なんかに負けないぞ!! (三島市内 撮影 青木久尚氏)



県東部農林事務所所長  
おか あつし 氏  
【略歴】 1981年入庁、2005年お茶室主幹、2011年お茶室専門官、2013年茶業農産課技監、2014年県茶業農産課長を経て2016年4月より現職。



学生のころから生物が好きで農学部に入った。田舎で育ったこともあり、山々の中で伸び伸びと自然と触れ合った。周りの環境はみんな農家で、その関係から県職に就いてからも農業関係に携わることになった。最初赴任したころは志太藤原農林事務所。お茶を担当し、自然豊かな地を回れることほどもうれしかったとか。6年在席した

## 皆で一緒に進める姿勢が大事

が、「ずっと担当していたが、」ととても魅力を感じてきた。大変だった業務では、世界お茶まつりにかかわったことがあったが、当時からお茶を海外にPRしているかにかかっていた。世界中のお茶を集め、その中でいかに人脈を作っていくか、みんなで知恵を出し、果もそれに寄り添って考えていく。仕事上で気を付けていることは、「県が押し付けて

か、韓国人や中国人など知り合い、または外国にイベントにも行き、欧米への販売にも力を注いだ。日本のお茶の消費量は減っているが、世界的には伸びているという。モットーは、みんなで一緒にやっていく姿勢が重要という。いかに地元のためにもみんなで考え、やっていくか、みんなが大事」と話す。地域の特徴にあったように工夫して考えていきたいことも。部下に対しては、「仕事

の適正化検討▽各地区における健康診断の実施▽視察研修の検討▽多能工について等を検討した。

## 8/20に親子現場見学会 ~90人を募集~

道路や建築物など社会資本整備を担う基幹産業である建設業を、若者男女の方々に広く理解していただくよう、特に、少年・少女の皆さんには将来の建設産業の担い手として活躍していただくことを期待し、「親子現場見学会」を実施いたします。

1 見学会及び見学場所  
実施日 8月20日(土)  
見学会 ①豊洲新市場建設現場のお台場周辺  
2 参加募集方法  
・公募・広報媒体  
・新聞「三建だより」業界新聞「建通新聞」等  
3 募集対象者  
・小学生・中学生とその保護者  
4 募集定員と締切日  
・親子45組(90人)

道路や建築物など社会資本整備を担う基幹産業である建設業を、若者男女の方々に広く理解していただくよう、特に、少年・少女の皆さんには将来の建設産業の担い手として活躍していただくことを期待し、「親子現場見学会」を実施いたします。

1 見学会及び見学場所  
実施日 8月20日(土)  
見学会 ①豊洲新市場建設現場のお台場周辺  
2 参加募集方法  
・公募・広報媒体  
・新聞「三建だより」業界新聞「建通新聞」等  
3 募集対象者  
・小学生・中学生とその保護者  
4 募集定員と締切日  
・親子45組(90人)



三島建設業協会土木・災害対策委員会(土屋龍太郎委員長)は「1年きた災害対応メール網がま」とり、関係者に内容を認識していただき、訓練、運用等の局面を迎えた。また、南海トラフ巨大地震に對しては緊急用道路の確保に向け、決められた地域での初動活動が重要となる」と述べた。

佐野地区長は「熊本地域では、先の地震に続き、豪雨に見舞われ、復興も容易ではない。我々静岡県民もいつ災害が起きるかわからない」と述べた。

特に、災害対応では、三島建設業協会事務局機能の強化策として、22社43名とのメールのフルタイム化、国交省からの災害時の人員・資機材に関する対応、県土木事務所からの他地区

・締切日 8月5日(金)  
・先着順に受付し、定員になり次第に締め切りますので、応募者多数で定員に達したときは、締切日前でも取り扱いを打ち切ります。  
5 参加費・無料  
6 交通手段・大型バス2台  
7 集合場所  
・三島建設業協会・大仁市民会館前・伊東市建設業協同組合・多賀地区センター前・国際専門学校熱海校前  
8 申込方法  
・三島建設業協会  
電話 055-975-10332  
FAX 055-975-1984  
1984  
※FAXの方は、送信後必ず電話し、応募状況等を確認してください。

国土交通省は、2016年「海の日」海事関係功労者大臣表彰の受賞者を発表したので、災害への備えが重要な地域は、いざいざでも早い復興をお祈りしたい」と述べた。

会議では、①沼津土木事務所及び東部農林事務所との技術研修会②技術士D.V.D講習会③合同研修旅行④災害対応(メール網等)⑤その他(技士会40周年記念事業)を議題として審議した。

「海の日」海事関係功労者大臣表彰の受賞者を発表したので、災害への備えが重要な地域は、いざいざでも早い復興をお祈りしたい」と述べた。

会議では、①沼津土木事務所及び東部農林事務所との技術研修会②技術士D.V.D講習会③合同研修旅行④災害対応(メール網等)⑤その他(技士会40周年記念事業)を議題として審議した。

第1回合同会議開く  
土木災害対策委・技士会



佐野茂樹氏(青木建設)が  
国土交通大臣表彰

港灣整備、港灣建設関係では20人が受賞。三建管内では、港灣整備事業で佐野茂樹氏(青木建設(株)社長)が選ばれ、7月25日に東京都千代田区の中央合同庁舎3号館で表彰式が開かれた。

投網俳句  
水打つや燈(あかり)をてらしむ古館 礼子  
波音の遠く(ありて)浜豌豆(はまえんどう) 和子  
酔芙蓉(あざむぎ)を少し過ぎ 文代  
玲瓏(れいろう)の笛の余韻(よるい) 藍子  
濡れ色の空(あま)ありて異人墓地 文字  
水草吹く町の川辺の文学碑 文字  
羽抜鶏(はぬけどり) 統子  
蜘蛛の囀(い)に小さき蜘蛛の待ち(を)り 十四男  
床の間の青の扇(あふぎ)の水の音 牙栄  
振花(ねはな)に個性の振れ(を)ありにけり 真砂代  
酔芙蓉(あざむぎ)れゆく色の集まれり 奏子

# 「展覧会の行列」



## 沼津財務事務所長 片野 光男

時間ができると美術館・博物館巡りをしている。先日、東京国立博物館の展覧会を見学するために、上野に出かけたが、そこですごい大行列に並ぶ人々を見た。東京都美術館で開催中の「生誕300年記念若冲展（公期）4月22日～5月25日）に並ぶ人々であった。その日は、5月も下旬でこの展覧会の会期末に近いこともあり、平日の午前9時20分という開館前の時間にも関わらず、既に「240分待ち」との看板が出ていた。

あれ？240分って何時？一瞬、計算ができて、約1万4千人と大盛況で、しばらく考えたが何となく、4時間待ちである。この時間から並んで入館できるのは、午後1時半頃なのだが、それでも、後から後から人が来て最後尾が伸びていく。さて、最大何分待ちになったのだろうか。

この「若冲展」は、江戸時代の天才絵師、「伊藤若冲」の初期から晩年までの代表作を紹介したものであり、過去最大規模の回顧展と話題の展覧会であった。結局、三十一日間の会期中の入場者数は約44万6千人の観覧者があった。

あれ？240分って何時？一日当たりの入場者数は、約1万4千人と大盛況であった。ちなみに、日本で開催された展覧会の中で、一日当たりで最大の人数を集めた展覧会は何かと調べてみると、やはり「モナ・リザ展」であった。

「モナ・リザ展」は、昭和49年（1974年）に東京国立博物館で開催された。会期中に約150万人の人を集め、一日当たりの入場者数は、約3万1千人であった。しかも、この展覧会には「モナ・リザ」1点のみならず、約400点の美術品が展示された。

「モナ・リザ」の来日した時に、フランスに渡り、ルーヴル美術館で展示された日本の肖像画があるのを御存じだろうか。それは、京都の神護寺に伝来する国宝の三像の肖像画の一つで「伝 平重盛像」である。神護寺に伝わる三像の肖像画の中には歴史の教科書で有名な「伝 源頼朝像」も含まれている。（これらの肖像画に描かれているのが誰であるかについては、現在では「伝」という文字がついている。）

当時のフランスの文化大臣が、この肖像画を強く要望したとのことである。日本の肖像画がルーヴル美術館に展示され

ていたというのを知り、少し誇らしい気持ちにもなる。さて、混雑する展覧会を比較するのには、見る方法はあるのだろうか。一つの方法として、開催時間が延長される夜間開催の時間を狙うのがよいとされている。会期中の金曜日などに、20時まで開館時間を延長していることがある。この延長された時間帯なら、比較的待つことなく見ることが出来る。また、可能な限り半のうちにみることも必要だろう。

先ほどの「若冲展」も私はこの方法で見えており、金曜日の夕方延長された時間帯に行き、祝日で混んではいたが、それでも30分待ちで見ることができた。もちろん、素晴らしい作品の数々にとても感動したところである。

これからも、美術館巡りを続けていくが、素敵な作品を見ることが出来るように、さらに、できるだけ並びすぎず、鑑賞できれば何よりの喜びである。

三島建設業協会安全委員会（森田委員長）は七月五日、三島労働基準監督署の清家宏造署長、町田真主任監督官及び静岡県企業局東部事務所の小南嘉宏専門監を招き、平成28年度第1回安全パトロールを実施し、伊豆市内と三島市内の現場を巡回した。

巡回したのは、中豆建設の静岡県沼津土木事務所所発注平成27年度「第27-1S4510-01号」竹原急傾斜地崩壊対策（一般大規模）【防災・安全交付金】（重点工事（補強工事）（伊豆市修善寺）と、加和建設の伊豆市（伊豆市）「新築工事」（三島市一番町）の2現場。点検票に沿って、車両系機械や足場、就労管理、就労管理、届け出関係などの項目についてチェックしていった。

出発前と事後の反省会等で、清家署長は「安全週間



若冲展のポスター

期間であり、足場からの墜落防止措置の強化を図るためパトロールを実施した。また、暑い季節なので熱中症対策には万全を期していただきたい」と述べた。

また、企業局の小南専門監は「三建とは災害協定を締結しており、今後とも連携を強化したい」と述べ、森田委員長は「熱中症対策や労働災害防止が主要原因が重機、扶まれ、崩壊等であり、講習会、パトロール等あらゆる機会を活用し、事故防止に努めたい」と述べた。なお現場はおおむね良好であった。

# 「国土強靱化」により 復興加速から日本再生へ



## 国土技術研究センター理事長 谷口 博昭

①自立・分散・協調型国土とインフラの強靱化  
熊本地震の迅速な復旧、及び今回と同様の断層地震やより高い発生確率の首都直下型地震、南海トラフ地震への万全な備えには「国土強靱化」を一層加速することが求められる。

「国土強靱化」のさらなる加速には、自立・分散・協調型国土形成を目指す大都市再生と地方創生の協調・両立を図ることが必要。それを担うインフラのコスト改善や生産性向上を促進し強靱化を図ることが必要。大都市においてはグロ

バルゼーションに対応した国際空港・港湾とアクセスの拡充及び放射・環状道路の整備促進、地方では連携・交流を推進し被災時に「命の道」となる幹線交通網の強化が肝要となる。特に、リアンの名古屋・大阪開業の大規模倒しや高速道路のミッシングリンクの早期解消を促すには、公共施設等運営権制度の活用が求められる。

②地域再生、グローバルとローカルの好循環  
地域再生については、少子高齢化・人口減少が加速している地方とこれからの

大都市との相違を勘案しつつ、地域の特性を生かした主体的な取り組みが求められる。高度な都市循環や産業集積等により世界をリードする大都市再生と「医・職・住」近接のまちのコンパクト化や、連携・交流による地方創生と協調・両立を図れる地域再生が重要だ。地方創生を推進する者（バード）、「なぜローカル経済から日本は勝るのか」の著書で知られる（株）経営共創基盤代表取締役CEOの富山和彦氏によると、電機・機械など持ち運び可能なモノを生産するグローバル経済による価値を創造する大

都市再生が必要になる。特に、インバウンド急増や2020年東京五輪・パラリンピック大会開催で旺盛な民間活力を活用し、「開かずの踏切」の解消や無電柱化及び、立体道路やスパー堤防の制度を生かした民間建築物とインフラとの一体的整備などによる「魅力創出」が期待される。

④地方創生、「地産地消」を官民連携で  
一方で地方創生には、人口減少時代の地方都市や地域間において、競走をもちたす側面がある。そのため、自然、風土、景観や歴史、文化の特性を生かしたインフラ整備・保全が求められる。

③大都市再生、「魅力創出」を官民連携で  
国からの交付金頼みでなく民の稼ぐ力、及び「匠の技」や地球環境に負荷の少ない太陽光や水力、風力・地熱など再生可能エネルギーの活用による「地産地消」に軸足を置き、理念を同じくする「国土強靱化」と協調しつつ官民連携で取り組むことがきわめて大切な。

自由民主  
5月31日より転載

日常・被災時を問わず地方の安全・安心の向上に資する「国土強靱化」と地方創生・経済に資する「地方創生」の連携強化により、交流に頼りすぎることなく持続可能な定住を図ることが可能となる。

しかし、人口の少ない地方は大都市と異なる「地産地消」で実績を上げて、「地産」に限りがあるので、近隣大都市との商流道路の開拓・確保による消費拡大という「他商」や「地消」を促す必要がある。それを促進するためにも幹線交通網の強化が必要だ。

さらに、「国土強靱化」と「地方創生」の両政策に貢献する建設業の果たすべき役割が、一層重視されるべきで、適正な利益を得る若者や女性を含む担い手を確保するなども、農林水産業などとの連携が今後大きく期待される。

静岡県熱海土木事務所、三島労働基準監督署と三島建設業協会安全委員会は六月二十九日、平成28年度6月度建設工事安全パトロールを実施し、熱海市と伊東市の現場3カ所を巡回した。1カ所目は熱海市上多賀地内で青木建設が施工する「平成27年度「第27-1D7250-01号」(国)135号防犯・安全交付金(国道橋梁耐震対策)工事(曾我浦橋(11-01))の現場を施工者の担当者とともに見回った。その後、伊東市川奈地内で伊豆急ハウンズが施工する「平成27年度「第27-1S7006-01号」川奈小浦浜急傾斜地崩壊対策工事(擁壁工(11-01))と、伊東

市政須美元和田地内の塩地総合開発施工の「平成27年度「第27-1D9335-01号」(国)135号安全・安心緊急道路対策事業(交通安全工事)歩行空間整備工・その3(11-01)」の現場を点検した。点検は、書類や掲示物の確認、重機の管理体制や安全対策などを点検項目に沿って丁寧にチェックしていった。

# 伊豆、三島2現場の安全パト

## 安全委



現場での安全パトロールの様子

生コンの御用命は下記の会社をご利用下さい

静岡県伊豆生コンクリート協同組合  
事務所 〒415-0016 静岡県下田市488-1(EフラットII) 電話(0558)22-9044

☑組合員

天城生コン(株)  
〒413-5307 賀茂郡河津町湯ヶ野215-1 TEL(0558)36-8032

伊豆下田生コン(株)  
〒415-0028 下田市吉佐美135 TEL(0558)25-2266

伊豆工業(株) 仁科工場  
〒410-3513 賀茂郡西伊豆町463-1 TEL(0558)52-0592

(株)賀茂生コン  
〒410-3501 賀茂郡西伊豆町字久須3294 TEL(0558)55-0742

熱海生コンクリート販売協同組合  
事務所 伊東市吉田字長畑道上1026-37 電話(0557)44-4411

☑組合員

真鶴生コンクリート(株) 神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴1898 TEL(0465)68-1171

(株)しょうじ建設函南生コン 田方郡函南町榎井沢226-1 TEL(055)974-0226

野村マテリアルプロダクツ(株) 湯河原工場 熱海市伊豆山黒崎269 TEL(0557)80-2141

野村マテリアルプロダクツ(株) 熱海工場 熱海市曾我山1993 TEL(0557)82-1244

稲村生コンクリート(株) 熱海市上多賀457-1 TEL(0557)68-1621

伊東市吉田字長畑道上1026-37 TEL(0557)45-1366

伊東市吉田字長畑道上1026-37 TEL(0557)45-1366

東伊豆工場 賀茂郡東伊豆町稲取2230-1 TEL(0557)95-3168

鉄骨の御相談は当社へ

県知事許可(般)第8828号  
全国鉄構連・建設大臣・認定工場  
T F B M-060126

有限会社 阿武野工業  
代表取締役 阿武野康次

住所 静岡県沼津市下香貫清水2094-2 〒410-0822  
TEL 055(931)-2303  
FAX 055(934)-0766

株式会社 トミック  
tomic@alpha.ocn.ne.jp

代理店・施工店

- 透湿型壁面防水材 ハーパス
- 高耐久ルーフィング防水仕様「ベストルーフシャネツ」
- リポールマイティL水性塗膜防水
- 耐震補強各種アンカー工事
- アスベスト除去工事

三島市東本町1-16-33  
TEL055-973-2056

電気設備工事 設計施工

株式会社ダイナナ  
代表取締役社長 内田 豪  
本社 三島市梅名371-2  
電話(055)977-3511(代)  
熱海営業所・厚木支店

大野電機工業株式会社  
代表取締役 大野 文男  
三島市南二日町24-27 電話(055)975-1040(代)

近和電業株式会社  
代表取締役 今瀬 誠  
支社 静岡県三島市平成台8番地  
TEL(055)986-5211(代)  
静岡本社・東京支社

# 忍者(忍びの者)の実像

和泉 清

先づ、愛知県観光振興課が募集した「服部忍者隊」メンバー6名に対し、応募者はなんと235名。しかもそのうちの200名が外国人であったとか。

黒装束に身を固め、厳しい修行によって培った超人的な身体能力を生かして、闇に潜み、宙を駆け、手裏剣を駆使して敵と戦い、印を結ばば煙とともに姿が消える。

2月28日のテレビ番組では滋賀県甲賀市で忍者の存在を裏づける古文書が紹介された。甲賀には忍者の子孫が、今も30世帯残っているとのことである。

甲賀忍者(甲賀者・甲賀衆)とは近江・甲賀郡の侍の総称であり、伊賀忍者と並び称される。四辺を山に囲まれた伊賀や甲賀には甲賀忍者と称されるよう

戦国・江戸時代の忍術書を研究している三重大学の山田雄司教授によると、その実像は時代劇の忍者像とは、かなり違っていたらしい。教授によると、伊賀と甲賀が敵対する設定が登場するのは現代になってからで、女忍者「くノ一」とは情報収集のために他国へ派遣された女性のことを指し、男性忍者のように戦闘や火術を用いたりすることはなかったという。

映画などではドロドロと消えるが、そのイメージのものとは南北朝時代ごろに登場した僧兵の兵法に行きつたこと。もともと身を隠す際に「見つからないように」と呪文を唱えたりしていたという。

また、黒装束は忍者のユニフォームではない。手裏剣も忍者独自の武器ではなく、かたがた、つまみ、伊賀と甲賀の戦場スパーマン的戦闘員ではなく、主として大名に仕える謀略者のような存在だったのである。

「伊賀流忍術博物館」の江戸時代の史料には、他国で人と知り合いになり、情報を聞きだすためのコミュニケーションの方法が書かれている。口伝の内容も多岐に、少なくとも書物にある服装の指定は「目立たない色」とある。生業の半は農業であった。



## 小窓

近年、日本各地では、熊本地震、東日本大震災、新潟中越地震、阪神淡路大震災、常総市の河川氾濫、広島島の土砂災害、御嶽山の噴火、雲仙普賢岳の噴火など様々な災害が発生している。

伊豆地域に於いても昭和三十三年の狩野川台風、昭和四十九年の伊豆半島東方沖地震、昭和五十三年の伊豆大島近海地震、昭和五十五年の伊豆半島東方沖地震、昭和五十一年の豪雨、平成三年の伊豆南部地方の集中豪雨などがある。

二〇一一年(平成二十三年)三月十一日午後二時四十六分、三陸沖(牡鹿半島の東南東、約130km付近)深さ24kmの海底を震源として発生した東北地方太平洋沖地震は日本における観測史上最大の規模マグニチュード9.0を記録した。震源地域は岩手県沖から茨城県沖までの南北約500km、東西200kmの広範囲(およそ十平方キロメートル)に及んだ。

「これほどまでに恐ろしい津波が地震発生直後にやってきたらともかく、四分の猶予があったにも拘わらず逃げ遅れた人が多数いたのは非常に残念な事である。この二百年のうちに津波の津波も含めて四度に津波がやってきているのに」と嘆いた。そんな中、防災意識高揚の為に二つの事例を紹介して

基異なった俳句と、千年後の人達が災害から身を守れるようにと、自分たちの経験した中から教訓などを刻んである。

二つ目は、「表示板」の設置である。津波の到達点を表示することにより、記録として残り、津波被害にあった土地であることを次世代に伝えていく。同時に再び同じような被害に襲われる可能性のある土地があることも伝えていく。

## 防災意識の高揚を目指して

三建広報委員 村上 千明 (株)伊豆急ハウジング

て集中する工場群、沿岸部の住宅や畑がごとく破壊された。死者・行方不明者約三千九百人、住宅・建物約三万九千棟、約三十三の浜があることによる。

石碑には一基一



海蔵寺境内入口の津波浸水点の石碑

立てる。この場所は、この高さまで浸水したという事実を確認することにより、再び津波が起きた際の避難行動に活かせるようにする。

これは右手県宮古市重茂姉吉地区に建てられた災害記念碑を参考にし、平成二十一年(一九二九年)と昭和八年(一八八四年)の三陸地震による被害を伝えるものになった。

石碑は姉吉漁港から、坂を上った、海抜八メートルの所に建てられ、「ここより下に家を建てるな」という注意喚起であり、これにより、防災意識が高まり、この石碑より低地の漁業施設は東日本震災によって被災したものの、この石碑より上に建てられた住居には津波が及ばなかったものである。また、この石碑の存在により、明確な指標があったことから、この石碑の手前まで津波は到達したものの、地震発生時に海沿いにいた住民らも、直後に自宅等の高台に上がったことからは津波被害に合うことはなかったとのことである。

現在の「表示板」は公

また、伊賀と甲賀の間には婚姻関係があり、敵対関係はなかったと思われる。その他「万川集海」には多少の雨では消えないノロシの製法、携帯食の兵糧丸の記憶術や速歩術など、現代にも役に立つ数々の忍法が記されているのだ。

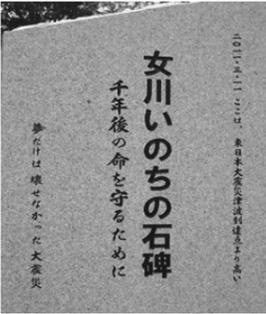
共の場所だけでなく、一般からも予想以上の反響がある設置がすすんでいるそうである。

さて、伊東市川奈の港から二百メートルほどの山際に建つ「海蔵寺」には境内へ上がる石段の三段目あたりに安政東海地震(一八五四年)、六段目あたりに関東大震災(一九二三年)、十八段目あたり(海抜約八メートル)に元禄大地震(一七〇三年)の「津波浸水点」の石碑がある。防災訓練の時はこの階段を上りながら上に避難するとのこと。

また伊東市に於いては、各家庭の防災対策の促進、各種危険箇所の周知、防災意識向上を目的とした「伊東市総合防災ガイドブック」が有る。また海抜表示の設置、津波避難ビルの設置と表示、津波ハザードマップ



学校敷地内に立てられた1基目の石碑



石碑に刻まれた句

『優良産廃処理業者認定制度』静岡県知事認定取得第一号

◆優良認定制度は、優良な産廃処理業者への処理委託を推進することによって排出事業者の環境への配慮を促進する目的で定められています。

全国産業廃棄物連合会「優良事業所」表彰

電子マニフェスト即対応 (JWNET,e-reverse,e-マニフェスト) 工場見学随時受付

SEKI TRANSYS セキトランスシステム

HP <http://www.sekitransys.co.jp>  
 本社 〒411-0933 静岡県駿東郡長泉町納米里515-1 TEL <055> 988-6868

<p>廃棄物中間処理</p> <p>セロシ処理対応</p> <p>サーマルサイクル施設</p> <p>管理型最終処分場</p> <p>クリーン作業</p>	<p>破砕・圧縮・切断・溶融固化</p> <p>焼却処分</p> <p>埋立指定廃棄物に対応中</p>
<p>運輸・倉庫</p> <p>テクパル</p>	<p>家電リサイクル指定引取場所</p> <p>住宅設備機器販売</p> <p>太陽光発電システム販売</p>

JIS工場からより良い製品をお届けします。

コンクリート製品の御用命の筋は下記の会社へ是非お願い致します。

(営業品目)

土木用間知ブロック・道路用製品他

土 屋 建 材 株式会社

青木コンクリート工業 株式会社

菅 尾 工 業 株式会社

営業品目

砕 石・割 栗 石

間 知 石・埋 土 工 事

立岩石材(株) 伊豆市船原 (0558) 87-0831

二葉建設(株) 御殿場市新橋 (0550) 82-2087

サ、キ工業(株) 伊東市萩城の平 (0557) 37-8587

伊豆地区採石業災害防止協議会

SHINKO

土木/解体工事・不動産事業

本社:伊東市富戸1091-7 TEL.0557-51-4755  
 工事部:伊東市吉田920-40 TEL.0557-51-4362

産業廃棄物運搬・処分

処分場:伊東市富戸1285-17 TEL.0557-51-4722

(株)新光重機土木

